

平成20年度十和田市現代美術館行事計画予定

◆企画展

★開館記念展「オノ・ヨーコ『入口』」 4月26日(土)～7月6日(日)

1950年代から現在に至るまでアート、音楽、パフォーマンスと多岐にわたる活躍を続け、戦後日本の美術界に大きな軌跡を残した「オノ・ヨーコ」。開館記念展として、十和田市現代美術館の参加作家の一人でもある彼女の作品を取りあげ、観覧者が自ら作品に参加し、「新たな体験ができる」作品9点(予定)を展示します。

★夏季企画展 ワット！ どうぶつ What? アート 7月19日(土)～8月31日(日)

十和田市は「馬のまち」をアピールしています。一方、当美術館の中にも、動物をモチーフにしている作品があります。「子どもと親しめるアート」をテーマに、さまざまな表現形態の作品を配して、現代アートの多様な表現に親しんでもらいます。三沢厚彦、奈良美智、土屋仁応、小林孝亘などの作家が出品予定です。

※関連イベント…企画展に参加するアーティストがワークショップ(体験型講座)を行います。

- ・オオクラテツヒロ「箱式」ワークショップ(現代美術館と県立美術館との連携企画)
8月16日(土) 現代美術館「どうぶつ箱式」 8月17日(日) 県立美術館「かいじゅう箱式」
- ・本山ひろ子金属造形ワークショップ・会期中

※詳しい時間、募集人数等については、「広報とわだ」などでお知らせします。

★秋季企画展 都市の記憶展(仮称) 9月13日(土)～10月19日(日)

十和田市内にある街角の彫刻やモニュメント、近代遺産として後世に残したい価値を有する建築や産業、風景などを作品、資料、そして写真で構成し、新たな側面を浮かび上がらせる実験的な企画展です。

◆ワークショップ、講座など

★現美土曜のつどい

アートに関するさまざまな話題を美術館スタッフや専門家がやさしくトークします。テーマはその都度変わります。どなたでもお気軽にお越しください。

日程 毎月第3土曜日
(5月～21年3月※8月除く)
計10回 午後1時30分～2時30分

場所 館内市民活動スペース

定員 30人程度

講師 美術館スタッフまたは外部講師

参加料 無料

★美術ハローワーク

中学・高校生のための講座です。美術に興味がある、美術系学校に進学したい、関連の仕事に就きたいかた、アートの世界をのぞいてみませんか。

日程 7月26日(土)、
8月2日(土)・9日(土)
午後1時30分～3時

場所 館内市民活動スペース

定員 30人程度

講師 現代美術館スタッフ

参加料 無料

★実技ワークショップ

子どもや保護者を対象としたワークショップ(体験型講座)です。

日程 ▶絵本づくり 時期未定
▶イラストに関するワークショップ 12月
場所 館内市民活動スペースなど
定員・時間 未定

講師 現代美術館スタッフまたは外部講師

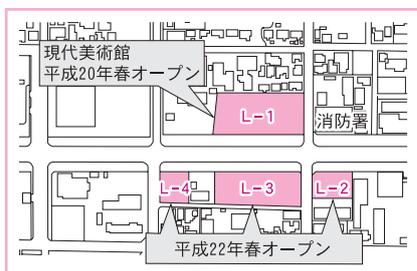
※内容により、材料費などをいただく場合があります。

※詳しい日程については、随時「広報とわだ」でお知らせします。

今後の「アーツ・トワダ」の整備について～現代美術館向かいの敷地はどうなるの?～

野外芸術文化ゾーン事業(通称:アーツ・トワダ)は、官庁街通り全体を美術館として見立て、整備を行うプロジェクトです。現代美術館開館後は、向かいの敷地(旧税務署跡地および旧税務署西側空き地)を、美術館との関連性を考え、公園的に整備します。平成20年度にアート作品の設置、21年度に外構工事を行います。

2月23日に開催された「アート作品検討委員会」



(委員長:南條史生・森美術館館長)で、同敷地に設置する作品として、日本を代表する現代アート作家である草間弥生によるカボチャをモチーフとした作品のほか、アーウィン・ワーム(オーストリア出身)、ジャウメ・プレンザー(スペイン出身)、インゴ・イデー(ドイツ出身)の4名の作品が候補となりました。子どもの想像力を高めるような、ユーモアある作品が中心です。また現代美術館の白い箱が飛び火するかのよう、白い箱のようなトイレが設置されます。

引き続き、平成21年度には東北電力東側空き地へのアート作品設置工事および外構工事などを行います。アーツ・トワダ全体のオープンは平成22年春。新幹線が青森まで開通する予定の年、官庁街通りがどう変わるか、ご期待ください。